

レポート作成ガイダンス

情報リテラシーの視点から
長崎大学 薬学部 西田 孝洋

1

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

2

そもそも、レポートとは？

レポートとは

小論文 < レポート < 論文

- あることからの報告や説明ではなく、それについて分析した結果について、**自分の意見や主張を「報告」**すること。
- しかし、**単なる報告書もレポートと呼ばれる場合が多い。**



レポートの意義

- レポート執筆は、学位取得や企業の入社試験に必須とされる場合が多く、**自己の主張を分かりやすく、正しく表現する必要性**がある。

「情報を調査する力」
「分析・整理する力」
「読者を説得する表現力」

「アメリカにノーベル賞者が多い理由…(中略)…、一人の研究者が、自分の仕事を面白く、分かりやすく、整然と、他人に説明する習慣が確立している。」
出典：白川英樹 私の歩んだ道 朝日新聞社 2001

3

レポートとは…



(1) 調べた理由・目的
なぜそれを調べようと思ったのか、何を明らかにするのかが、

(2) 課題(調べたこと)
何について調べたか、

(3) 調べた内容(方法と結果)
どのような方法で調べたか、(参考文献、インターネットの方法などを明記する)その結果、どのようなことが分かったか、

(4) まとめ
調べたことの全体を通じて分かったことや、考えられる今後の課題や今後の課題。

「レポートとは…」
「レポートとは…」
「レポートとは…」

出典：宇仁江5年生 6月号(2006) 福武書店 4

単位との関わり

高等教育の単位制度は、教室での授業と授業の事前・事後の準備学習・復習を合わせて単位を授与することを前提としており、学生には大学の教室で授業を受けるだけでなく、**教室外においても自主的な学習を行うことが求められる**(文科省HPより)。

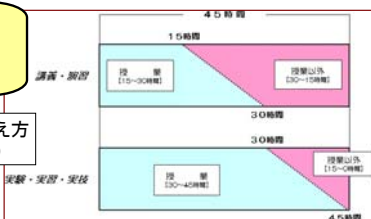
半期1コマ 2単位(90時間) → 授業30時間、以外60時間

1単位: 45時間

学生の準備学習・復習
↓
レポートが重要な役割

大学における1単位の考え方
(<http://www.mext.go.jp/>)

成績評価の手法



5

レポートを書く目的

- 問題に対して解答・解決する能力を養う
- 問題提起する能力を養う
- 取り組んだ問題に関する理解・知識・考えを深める
- 学術論文などを書くための文章力を養う
- 情報リテラシーup
- 情報モラルの十分な理解



出典：これからレポート・卒論を書く者たちのために、酒井聡樹(2007)共立出版 東北大学図書館の事例 6

レポート作成手順

1. 予備調査(事前調査)
2. テーマの選定
3. 問題提起、仮説・暫定論旨の提示
4. 暫定目次の作成
5. 資料・データの収集
6. 資料の整理(解釈・説明、分析・考察・判断・意見)
7. 論旨、目次の詳細検討、確定
8. 文書作成(論述・執筆)
9. 出典表示、文献整理、確認
10. 仕上げ

情報リテラシーが必要な部分が多い

出典: レポート・論文・プレゼンスキルズ、石坂春秋(2003)くろしお出版

7

情報リテラシーの重要性

- 情報収集: インターネット、データベース
- 情報の表現: グラフリテラシー
- 情報の整理・活用



PCによるレポート作成の利点:

- 思考を直ちに文章化できる
- 書き直しや編集が自由自在
- 紙の無駄遣いの減少
- アウトライン作成
- 仕上げ(表現の統一、体裁、etc)



PCを思考のためのツール

8

レポート課題の具体的例

大学の授業・実習におけるレポートの種類

- 授業レポート(学習レポート)
 - 授業内容を整理して、関連情報などをまとめて報告。
 - 初歩的だが、本格的なレポート作成のトレーニング
- 文献批評レポート(読書感想レポート)
 - 特定課題文献・図書が与えられて論評
- 実験レポート
 - 実習での実験結果に対するレポート
- 研究レポート
 - 研究課題に対して文献調査や実態調査を行い、論理的に分析・整理して報告



9

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

10

レポート課題で考慮すべき事項

- テーマの設定
- 締切
 - 提出までの時間の割り振り
- 提出方法
 - 手書き、ワープロ、E-mail、WebClass(LMS)、etc
- 採点基準
 - 理解度、意見主張、論理性、情報収集、構成要件、etc
- 教員への質問
 - サンプルの提示、ねらい・趣旨、チェックリスト、etc
- 受け取りの確認



11

レポートテーマ選択の事例

レポートテーマ選択の事例(レポート・論文の書き方の授業より)

1	田中英壽	21	野球	41	産業廃棄物
2	インドネシア	22	UNIQRO/-	42	ダイオキシント汚染
3	飛行機	23	心理	43	生活習慣病
4	コソボ	24	白濁(淋病) 梅毒	44	ストレス、健康
5	少子高齢化	25	ストレス	45	民族紛争
6	自動車	26	マクドナルド	46	株格
7	花	27	ダイオキシント	47	深層心理
8	青少年犯罪	28	幼児虐待	48	自殺
9	ホテル	29	ユニクロ	49	少年犯罪
10	夕日コ	30	少年犯罪	50	自動車産業/-
11	いじめ	31	韓国、ホスピタリティ	51	自動車
12	チベット	32	サッカー	52	サッカー
13	不眠症	33	イモト	53	音楽療法
14	リサイクル	34	犯罪/-	54	大塚
15	ドイツ・ニュラント	35	ファッション		
16	運動	36	韓国、ホスピタリティ		
17	ファッション	37	韓国、ホスピタリティ		
18	地震	38	マクドナルド		
19	ベンチャー企業	39	コンビニ		
20	スウェーデン	40	マクドナルド		

テーマ選択例
(経営学部1年生)
・レポート(3600字)
・キーワードを示す

出典: レポート・論文・プレゼン スキルズ、石坂春秋(2003)くろしお出版

12

レポートの評価ポイント

1. 課題に対する**専門的知識を正確に理解**しているか。
2. 専門的知識を前提に、**自分の意見**(提案、賛否、疑問、補足など)が主張されているか。
3. 自分の意見には、**論理的、実証的根拠**が示されているか。
4. 課題を解決するための**資料収集**の努力は、適切かつ十分であるか。
5. レポートの**構成要件**(序論、本論、結論、資料)や文章表現が一般的な作法に従っているか。
6. レポートの完成度が高く、**読者を説得**する工夫がされているか。

出典: わかりやすい論文-レポートの書き方、安藤 善久(1999)実業之日本社

13

E-mail利用での留意点

➤ E-mail添付送信の実例(説明)

To: e5f7000@cc.nagasaki-u.ac.jp CC: 自分のアドレス
件名: 履修番号・名前・中間レポート提出

メール本文:

中間レポートのエクセルファイル(ファイル名)を添付しています。

※ **必要な方は、確認メールをCCするアドレスを記述**



携帯メールの活用

➤ 情報モラルでの留意点

- ファイル形式などのメール本文への記述
- 添付ファイルの容量
- 自分のアカウントを使用
- PCウイルス対策

よくあるトラブルなど:
ファイルの添付忘れ
名無しの権兵衛
文字化け・ファイル形式
送信側PCの時刻のズレ
受信メールボックスのトラブル

14

レポート提出の失敗例

- 20MBのワードファイルを添付提出
 - うまく送信できない、受信ボックスにトラブル起こりやすい
- Macintoshのエクセルファイルが読めない
 - OSが違うと読めないこともある、Windowsが無難?
 - 受け取り側がしっかり読めるファイル形式かチェック
- 添付忘れ、送信アドレスのミス
 - メールをしっかりチェック、CCしておくで添付忘れはすぐ分かる
 - 送信エラーだと、変な英語のメールが返ってくる
- 名無しの権兵衛→テストでもよくある
- 紙がくちゃくちゃ、綴じていない→読む気が無くなる

15

レポート体裁チェックリストの例

- 構成など
 - 字数やページ数などの条件は守られているか
 - 見出しや章立ての番号に重複や脱落がないか
 - **要約とまどめは、本体ときちんと対応**しているか、...etc
- レポートの形式
 - **引用部分が明確**になっているか
 - 参考文献の記載漏れがないかどうか、...etc
- 書式設定
 - 複数のフォント、サイズが混在していないか
 - **ページ数を表示**しているか、...etc
- 提出のマナー
 - 名前、学科、学年をきちんと書いているか
 - ステープルなどで綴じているか、乱丁・落丁はないか、...etc



出典: 論文の執筆 レポートから卒論まで、戸田山 和久(2002)NHK

16

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

17

剽窃の注意・適切な引用

「剽窃(ひょうせつ)」とは、学術的な研究発表において、**適切な引用を行わず、他人の考えを自分のものとして公表すること**をいう。

独自性のある意見について、初めにそれを公表した人のオリジナリティを尊重して敬意を払うことは、学問をする者として当然の義務である。**レポートなどにおいては、自分の考えたことと他人が考えたことを明確に区別しなければいけない。**

剽窃は著作権法違反です!

剽窃に、この程度なら許される、学生だから許されるなどのレベルの差はない。剽窃は重大な違法行為(著作権法違反)であり、学問の世界における皆さんの名誉を著しく損なうことになる。

慶應義塾大学 メディアセンター HP より
<http://www.lib.keio.ac.jp/kitie/>

18

学生の剽窃事例(某学部の例)

- 大学院 当期の成績抹消
 - 他人のレポートを盗用して、他の科目のレポートとして提出
- 3年生 当該科目の成績抹消
 - 他人のファイルをコピーして、そのままメール添付送信
- 1年生 当該項目の点数抹消
 - 他人のファイルをコピーして、若干の変更をした後に、レポート提出

レポートのコピペ問題は深刻な問題

情報モラル、特に知的所有権(著作権)に関するルールを徹底

19

主体的な情報活用の薦め

自分で先に出すレポート

剽窃とはインターネットから得る情報を無断に複製して、他人の著作物として発表することです。剽窃は著作権法で禁じられており、著作権者に損害を与えます。また、剽窃行為は学則違反となり、成績抹消などの処分を受ける可能性があります。剽窃行為は、自分の知識や考えを表現する機会を失い、学習の機会を減らすことになります。また、剽窃行為は、他人の努力を尊重しない態度を示すことになり、社会的に受け入れられない行為です。剽窃行為は、自分のアイディアや考えを表現する機会を失い、学習の機会を減らすことになります。また、剽窃行為は、他人の努力を尊重しない態度を示すことになり、社会的に受け入れられない行為です。

単純な切り貼りのレポート作成×

三色ボールペン情報活用術 齋藤孝子メモ文庫

自分の言葉(論言)で点情報をつなぎ合わせる

20

適切な引用

- 情報シート、エクセル(データベース)の利用
- 引用形式・引用リスト:例の表示
- 脚注での引用 引用だと容易に分かる工夫

本文中での引用の例:
 ……と考えられている(1)。一方、Koizumiらは²⁾、「……………」。

図表タイトルの例(出典がある場合):
 Fig. 1 ……の模式図[3]

引用文献・資料リストの例:
 1) 新しい図解薬剤学、森本ら、南山堂、2003 → 書籍情報
 2) <http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/> (アクセス:06/08/30) → URL

21

データの信頼度

情報源:
 図書館資料
 インターネットHP
 データベース
 実態調査(アンケート)
 インタビュー

インターネット情報の問題点

- ・情報がインターネットにあると錯覚
- ・情報が混然一体(玉石混淆)
- ・信憑性に疑問
- ・情報がなくなる可能性(流動的)

データベース・Webの守備範囲を意識

安直なWeb検索(Googleなど)に頼り過ぎない

獲物(有益情報)を海(Web)からゲットできるか!

22

情報の種類

- **一次資料**
 - 資料の著者がじかに目撃し、調査し、考察した事実の報告書
 - 例: 原著論文、著書、新聞記事、白書、調査レポートなど
- **二次資料**
 - 一次資料を元に第三者が作成した資料、報告書
 - 例: 翻訳、レビュー、百科事典、教科書、データベースなど
 - 一次資料と二次資料を選択的に組み合わせ作成された資料を、**三次資料**と呼ぶこともある。
 「資料」フリー百科事典 ウィキペディア日本語版(<http://ja.wikipedia.org/>)。2007年8月7日9時(日本時間)現在での最新版を取得。


なるだけ、一次資料を優先する

出典: レポート・論文・プレゼン スキルズ、石坂春秋(2003)くろしお出版

23

信頼性が高いソースの例

- 辞書・事典
- アカデミックデータベース(化合物、gene、etc)
- 教科書、著書
- 学術論文(捏造がなければ)
- 学会や研究・教育機関のHP
- ニュース(新聞、TV、ラジオなど)
- 有名企業のHP
- 雑誌(種類や分野にもよるが)
- Wikipedia



24

信頼性が低いソースの例

- 雑誌(種類や分野にもよるが)
- 個人的なHP
- 芸能誌、タ刊紙
- 電子メール(発信元にもよるが)
- 掲示板、チャット
- ブログ(日記)
- 噂、伝説など



オーソライズ(吟味・裏付け)されていない

25

図書館重視の情報検索

図書館蔵書検索: OPAC, Webcat plus, etc

- 印刷資料(百科事典、専門書、専門雑誌、論文集、新聞、政府発行人物、年鑑、辞典、etc)
- 視聴覚資料
- データベース(CD・オンライン)
- 蔵書情報・電子ジャーナル



PC端末も揃っているので、レポート作成の拠点的役割



26

パスファインダー

➢ パスファインダー(Pathfinder)とは

- 特定のテーマに関する情報を収集するための情報資源リスト
- 機能的なリンク集
- HTMLかPDFで提供

➢ レポート作成の支援

- 今回は、主に情報収集の支援
- 参考図書、有用なサイトの紹介
- 情報収集のTips

➢ パスファインダー(一般向け)

- <http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/ddspath/general/index.shtml>



27

検索エンジン・検索方法

➢ ロボット(キーワード)型検索エンジン: Google, etc

- 検索するキーワード詳細、適切に指定できる場合に効果

➢ ディレクトリ型検索エンジン: Yahoo, etc

- 分野を階層構造に幾段かに絞り、最後にキーワードで検索
- 収録データの量と質、収録方法、検索の仕方(演算)機能などにそれぞれ違いがある。

キーワードや調査対象によって、どの検索エンジンがよいか試す

エンカルタも無料利用



28

基本的な検索テクニック(Google)

➢ 検索式(AND/OR/NOT)



➢ 検索語の工夫

- 「~とは」意味や定義を調べる場合
- 「~するには」問題解決方法などを調べる場合
- 地図、リンク集、電話番号、などと同時に入力
- 完全一致: ""で囲む、不確かな部分: 半角の*(アスタリスク)
- ストップ語の無視解除: +をキーワードの前につける
- 特別構文: 「site:」特定のサイト、「inurl:」URLのキーワード、「filetype:」特定のファイル形式を探す、「link:」リンクしているサイトを探す



29

GoogleのマニアックなTips

➢ イメージ画像検索

- 検索語の工夫: 例えば、日本語だけでなく英語やローマ字

➢ ランキング評価

- リンク、キーワードの近接度・頻度

➢ キャッシュ

- ハイライト機能
- 存在しないデータも検索対象
- 怪しいサイトを回避

➢ Google Scholar

- <http://scholar.google.com/>
- 学術文献情報(citation重視)



30

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

31

情報の整理・活用

- 情報の収集方法
 - 本を借りる(図書館)・買う(書店)。
 - 資料をコピーする。
 - メモ帳に手書きする。
 - 記録カードを利用する。
 - 脳裏に記録する。
 - ワードプロソフトで記録する。
 - アイディアツリーや情報収集ソフトを利用する。
- 情報の整理
 - エクセル(数値データ)
 - パワーポイント(画像データ、スクリーンキャプチャ)

32

テンプレートファイルの紹介・特徴

情報を整理する習慣づけ

1. 情報シート:
テキスト形式

見出し:
項目:
出所:
日付:
情報:

- 文字修飾なし
- ファイル容量の節約

2. 画像ストック:
パワーポイント形式

キーワード: エスクローサービス

出所: <http://www.yahoo.co.jp/>

- ワードなどでの利用
- 配布資料で印刷

33

ソフトウェアとの連携

- 情報収集
- 情報の整理・活用
- アウトライン(章立て、項目)
- レポート作成・体裁
- 推敲
- プレゼンテーション
 - プレゼンテーションはレポートの予行演習
 - 違った視点・切り口、頭の中の整理

Word & PowerPoint

34

ワードによる文章構築方法

準備 → 目次・内容の確定
→ 執筆・仕上げ

- ・ブレインストーミング
- ・見出し候補のベタ打ち
- ・グルーピング

5W1Hの意識、起承(転)結
※ 授業テストの語句説明

見出し・キーワードから肉付けしていく

◎ キーワードのように構成する
 次に、構成表を横のグラフを縦にする。またワードプロセッサはパソコンにはインストール済みでワードを入れていく。方法がわからないテーマについては、別添付資料を参照してください。また、入力されたワードは、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。

35

アウトラインを意識した文書作成

レポートの構成

- 序論
 - 背景、問題提起、アプローチ
- 本論
 - データ、解釈、考察、推論、意見、結論
- 結び
 - まとめ、検討課題、展望
- 文献
 - 参考文献・引用文献の出典(出所)一覧

章立て → 見出し → 項目

レポートの特質を決定し、出来を左右

◎ 論文の構成
 論文の構成は、序論・本論・結び・参考文献の順で行う。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。また、見出し候補のベタ打ちも、自動的にワードプロセッサの標準スタイルで表示されます。

36

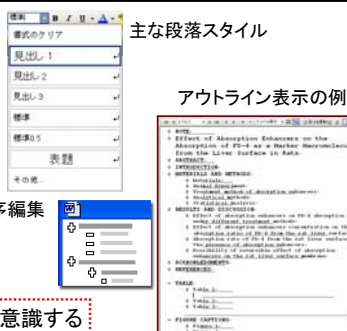
ワードの段落スタイル・アウトライン

▶段落スタイル

- 見出しマップ
- 自動目次作成
- 系統的な文字修飾
- 章・図の連番機能

▶アウトラインモード

- 章・見出し・項目の順序編集
- 見出しレベルの編集
- 文章のジャンプ



普段からアウトラインを意識する

37

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

38

パラグラフ・ライティング

▶パラグラフとは

テレビジョン学会誌, 49, 1373-1377 (1995), 参考書籍6

- 一つのトピックについて、まとまりのある事実や意見を述べた文章のことで、思考のユニットとしての機能を果たす。

▶パラグラフ・ライティング

- まず中心文(言いたいこと)を書き、支持文(理由・具体例・詳細な説明など)を書き連ねる。
- 一つのパラグラフ中のすべての文は、ユニットとしてのまとまりに貢献しなければならない。基本的な論理構成。
- パラグラフ中の文と文との連結には、思考がどう推移するかはっきり知らせる。文と文との関係を表す標識(語や句)や標識を含んだ文(連結文)を使う。
時間、付加、対比、反対、原因、順序、空間、例示、etc

39

文章を分かりやすくする技術

- ▶ 無駄な情報を削る
- ▶ 一度に与える情報は一つに絞る
 - 一つの文では一つのことだけを言う
 - 一つの段落では一つのことだけを主張する
- ▶ どういう情報を伝えるのかを、前もって知らせる
 - 見出しを付ける
 - 全体像を述べてから、細部を述べる
 - 段落の書き出しの一文で主題を明示する
 - 次に来る文の位置づけを教える
- ▶ 読者が待っている情報を与える
- ▶ 重要なことから述べる



： 出典：これからレポート・卒論を書く者のために、酒井彰樹(2007)共立出版

40

ライティングのチェックリスト

- ▶ 論文全体、セクション、パラグラフ、文、句、いずれの構造について、十分に考えを練ってあるか。
- ▶ すべてのパラグラフが思考のユニットとして、役割を果たしているか。
- ▶ どのパラグラフも主題文は適切か(内容、1主題)?
- ▶ 主題文以外の文が、主題文に関係づけられているか?
- ▶ 文と文の関係を明示する適切な語や句が使われているか?
- ▶ イントロで述べた事柄を、論議でも取り上げているか?
- ▶ 不必要な語、句、文、パラグラフを入れているか?

テレビジョン学会誌, 49, 1373-1377 (1995)

41

1. レポートとは
2. レポート課題のポイント
3. 情報の収集・検索
4. 情報の整理・活用
5. パラグラフ・ライティング
6. 参考資料

42

お薦め参考書籍

1. レポート・論文・プレゼン スキルズ、石坂春秋(2003)くろしお出版
2. わかりやすい論文・レポートの書き方、安藤 喜久雄(1999)実業之日本社
3. 論文の教室 レポートから卒論まで、戸田山 和久(2002)NHK
4. 論文の書き方マニュアル—ステップ式リサーチ戦略のすすめ
花井等・若松篤(1997)有斐閣アルマ
5. レポート・論文の書き方入門 第3版、河野哲也(2002)慶應義塾大学出版会
6. **これからレポート・卒論を書く若者のために、酒井聡樹(2007)共立出版**
7. Wordを使った大学生のための論文作成術—思考技術・情報処理技術を書く力へ、佐良木昌(2004)明石書店
8. 論理的な文章の書き方が面白いほど身につく本、西村克己(2006)中経出版

自分にあつたレポート関連の書籍を読む

43

有用リンク集

- <http://www.ronbunlabo.jp/>
- 論文作成コーチング・ラボ
- <http://www.kogakkan-u.ac.jp/users/fukatsu/>
- 電脳式国文学研究入門
- <http://www.shouronbun.com/>
- 小論文・レポートの書き方サイトについて
- <http://prose.nobody.jp/>
- 文章技術向上ガイド
- <http://www1.gifu-u.ac.jp/~shogo/informationliteracy/>
- 大学生のための情報リテラシー:レポートの書き方からプレゼンテーションまで
- <http://www.isc.meiji.ac.jp/~mktg1997/>
- 明治大 大石先生の論文執筆要綱



<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/dds/class/report/index.shtml>

44